

東日本大震災の避難者がつながる 交流拠点オープン

茨木市に4月、東日本大震災によって関西に避難した人のための相談・交流ルーム「こころん」がオープンした。被災者同士でおしゃべりや食事を楽しめるほか、スタッフによる住まいの相談や支援情報を受け取れる「避難者情報システム」への登録サポートも行っている。利用者たちは、「同じような悩みを共有できて心強い」と話す。

復興庁の統計によると、近畿圏への避難者数は約2,500人。しかし自治体に登録していない避難者の人数は把握されて

いない。「こころん」を運営する関西広域避難者支援センターの事務局長、片岡誠さんは「実際はその3倍いるのでは」と予想する。

県外避難者の最大の問題は、地域からの孤立。トラウマを抱えたまま悩みを相談する相手がなく、社会とのつながりも薄くなり、生活が困窮していくという悪循環をたどることが多い。また、国による復興支援は被災地が中心となるため、県外避難者への支援は薄く、自主避難者の住宅補助も昨年3月で打ち切られた。

片岡さんは「被災者の暮らしを立て直すことこそ復興。高齢者や母子世帯など、支援からこぼれ落ちた人をサポートしたい。ぜひ、相談に来てほしい」と呼びかけている。

関西広域避難者支援センター
平日10時～16時
茨木市西駅前町8-11 ローズハイツ茨木107
070-5340-9311



月に2、3回行われる食事は無料で参加でき、みんなで買い出しや料理しながら、互いの悩みを打ち明けていたりする。

豊中市保健所 中高生に「薬物乱用ダメ」 高校生、地元バンドとPV制作

大阪府警の統計によると、大麻事犯の検挙人数は20歳代以下の若年層が全体の約65%を占める。特に、平成28年以降は27年以前から人数が倍増した。豊中市保健所は、若者目線での啓発を進めるため、薬物乱用防止を訴えるオリジナル曲とプロモーションビデオ「For Life～薬物乱用ダメ。ゼッタイ。～」を市内の高校生たちと共同制作した。

曲は、同市出身のロックバンド「ヴォイスクラッカー」が作詞・作曲で、ボーカルの小松潔さんは「一度聞くと頭から離れない曲を意識した。若い人も聞くバンド音楽な



二人組ロックバンド、ヴォイスクラッカー。



PV撮影を行う府立豊島高校ダンス部の生徒たち。

ら、親近感をもってもらえるのでは」と話す。脚本や演出を手がけたのは、府立豊島高校の演劇部。薬物の誘惑から友人を守る高校生を描いており、ダンス部や軽音楽部の生徒約70人とヴォイスクラッカーが学校の屋上や中庭などでダンスや演劇、演奏を披露している。

PVはYouTubeや市HPで公開中。SNSでも広まりつつあり、研修会等にPVを使いたいという府内外からの問い合わせもあるという。今後はイベント等でも曲を披露するなど、啓発を進めていく。

余震に備えた準備を もう一度確認

6月18日(月)7時58分に発生した震度6弱・M6.1の大阪府北部地震。続く余震や今後本震が起きる可能性も含め、未だ予断を許さない状況だ。改めて備蓄品や家具の置き方など災害に対する備えを見直し、災害時の行動について考えてほしい。

いつ災害が起こってもあわてず行動するには、日ごろから備えが何よりも大切。例えば、非常持ち出し品の準備や、地震等の被害に遭った時の避難場所を把握しておくことも重要である。各市ではハザードマップを作成しており、各市役所で無料で手に入れることが可能だ。そのマップを見ながら家族で避難場所や避難ルートを確認しておくといいだろう。また、災害時は救援物資が避難所に届くまで時間がかかることもあるため、家族3日分以上の水や食料の準備が必要だ。横の非常持ち出し品チェック表を基に確認してみよう。



温めずに食べられるカレー、牛丼、羊羹など、長期保存だけでなく味にもこだわった備蓄商品が多く販売されています。インターネットで購入できますが、スーパーでもたまたま備蓄食品のコーナーがあるので確認してみてください。

| 非常持ち出し品チェック表 | |
|--------------|--|
| 飲料水 | <input type="checkbox"/> 水一人3リットル×3日分 |
| 食料品 | <input type="checkbox"/> 缶詰(缶切り) <input type="checkbox"/> インスタントラーメン(カップ麺) <input type="checkbox"/> ビスケット、乾パン、チョコレート |
| 電気器具 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備の電池 |
| 医療品 | <input type="checkbox"/> 常時服用している薬、常備薬 <input type="checkbox"/> 消毒液、きず薬、脱脂綿、ガーゼ、包帯、三角巾、ばんそうこうなど |
| 衣類 | <input type="checkbox"/> 肌着(1、2着) <input type="checkbox"/> 防寒着 |
| 日用品 | <input type="checkbox"/> ちり紙、タオル、バスタオル <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> マッチ、ろうそく、携帯用燃料 <input type="checkbox"/> 軍手、厚手の靴下、カイロ <input type="checkbox"/> ロープ、笛、レインコート |
| 乳児 | <input type="checkbox"/> ミルク、哺乳びん <input type="checkbox"/> 紙おむつ、おしりふき |
| その他 | <input type="checkbox"/> 現金、通帳、印鑑、保険証写 <input type="checkbox"/> 連絡先一覧 |

北大阪急行 2つの新駅名 候補案決定

北大阪急行線の延伸に伴い、2020年度に箕面市に設置予定の2駅について、駅名の候補案が決定した。千里中央駅の次の駅名を「箕面船場阪大前駅」、終点駅名は「箕面萱野駅」。

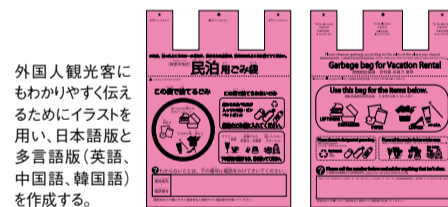
同市では、昨年12月から今年1月末までの約2カ月間、駅名候補案を市民など



に公募し、1,435件の応募があった。この結果を踏まえ、近畿大学の名誉教授を中心に、新駅周辺の地元自治会や北大阪急行電鉄などで構成された検討会議にて協議し決定した。今後、国への手続きを行い、正式決定となる予定。

民泊ごみ処理 独自ルールを制定

箕面市は、民泊から出るごみ処理のルールを新たに定める条例改正案を、6月議会に提案し、民泊事業者に3点義務付ける。一つ目は、専用のごみ置き場を設置すること。二つ目は、住居地域における事業者は専用のごみ袋(30ℓ1枚2,470円)を使用すること。この場合は市がごみ収集をし、ごみ処理が正しく行



外国人観光客にもわかりやすく伝えるためにイラストを用い、日本語版と多言語版(英語、中国語、韓国語)を作成する。

われているかを確認する。最後に、民泊利用者の部屋にごみ分別方法の説明を掲示すること。これは、6月15日の住宅宿泊事業法(民泊新法)の施行を受け、民泊と住民の生活環境を両立させ、安心して民泊を利用できる体制を整えていくための措置。改正条例は7月1日に施行予定。

「JKビジネス」散歩するだけ、撮影するだけそれが危険の入口に

協力:大阪府警察



～7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」～

いわゆる「JKビジネス」とは、女子高校生等による一定の接客サービスを売り物とする営業のこと。

そこでは、大人の身勝手な欲望により、女子高校生等が性被害に遭っている。このような被害をなくそうと、大阪府は2018年7月1日に「JKビジネス」に対する規制等を盛り込んだ「大阪府青少年健全育成条例」の改正施行を行う。

大阪府警察では、児童買春、児童ポルノ事犯や違法店舗に対する取締りのほか、青少年に対する街頭補導等の取り組みを推進している。

「JKビジネス」や各種少年問題に係る相談窓口

- 24時間対応
・最寄りの警察署 ・#9110(警察相談専用窓口)
- 月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時45分(祝日除く)対応の相談窓口
大阪府警察本部少年課 グリーンライン TEL: 06-6944-7867

「JKビジネス」については、大阪府警察のHPでも公開しています。
http://www.police.pref.osaka.jp/05bouhan/hikou/jkbusiness_1.html

